



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月30日
東上場会社名 SCSK株式会社 上場取引所
コード番号 9719 URL http://www.scsk.jp代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 谷原 徹
最高執行責任者

問合せ先責任者 (役職名) 主計部長 (氏名) 関 正浩 (TEL) 03(5166)2500

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	187,329	11.9	19,800	23.7	20,337	24.3	13,796	27.3
2019年3月期第2四半期	167,424	2.4	16,004	20.6	16,364	14.6	10,836	△10.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 14,158百万円(20.1%) 2019年3月期第2四半期 11,790百万円(△5.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	132.88	132.84
2019年3月期第2四半期	104.38	104.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	317,147	201,036	63.3
2019年3月期	314,844	194,468	61.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 200,701百万円 2019年3月期 193,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2020年3月期	—	65.00			
2020年3月期(予想)			—	65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	380,000	6.0	41,000	6.8	41,000	6.1	28,000	0.4	269.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	104,181,803株	2019年3月期	104,181,803株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	349,266株	2019年3月期	351,781株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	103,830,951株	2019年3月期2Q	103,826,009株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2019年10月30日に機関投資家・アナリスト向けの四半期決算説明会を開催いたします。この説明会で配布した資料、主なQ & A等については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、雇用や所得環境の改善が続くなか、景気動向としては緩やかな回復基調にあったものと考えられます。設備投資は人手不足を背景とした省力化投資等を中心に緩やかな増加傾向を示しており、企業収益は、製造業を中心に慎重さが増していますが、底堅く推移する状況にありました。

ただし、米国の保護主義的な通商政策に端を発する貿易摩擦のリスクや米国・中国他の景気後退リスクをはじめとして、英国のEU離脱問題や新興国・資源国における景気下振れ懸念、さらには、原油価格の上昇、金融資本市場の変動、地政学上のリスク等、世界の政治経済情勢における先行きの不透明感が以前にも増して広がる状況にある事、また、台風19号などの相次ぐ自然災害の経済に与える影響に十分留意する必要がある事から、企業経営における景気動向判断においては、引き続き慎重な対応が求められていると考えております。

このような経済環境の下、ITサービス市場におきましては、戦略的事業の強化や競争優位性の確保といった、戦略的IT投資需要の拡大に加えて、働き方改革への取り組みや人手不足への対応、顧客企業の生産性向上や自動化・省力化を目的としたシステム投資需要が高い状態で推移しました。また、今後到来する各種ソフトウェアにかかるエンドオブサービス対応や、様々な業種において未だ存在するレガシーシステムのオープン化等の各種業務オペレーションシステムの更新投資需要も顕在化してきており、IT投資需要は全般的に増加基調にあったものと考えられます。

特に、製造業企業においては、IoT関連需要や業務システムの更新需要、高機能化・電装化が進む車載システム関連の開発需要、また、製品サービスに対するBP0(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)サービス需要やより高度化する製品開発時の製品検証への需要等を背景に、堅調に推移いたしました。

金融業企業においては、多くの金融機関においてネガティブ金利といった市場環境を背景に設備投資を控える傾向にありましたが、先行きにつきましては、各種インターネットバンキング・ウェブサービスの高度化や決済手段の多様化をはじめ、FinTech・AI等の新しいIT技術の活用、さらには、海外オペレーションの強化・拡充に向けた対応等、今後の事業強化に繋がるIT投資需要については堅調に推移しております。

流通業企業においては、オムニチャネル化に向けてのEC・CRM領域や、顧客・販売情報分析領域の需要を背景として、コンシューマービジネスを手掛ける顧客企業を中心に、基幹システムの再構築・更新案件の増加など、IT投資需要は増加基調にありました。

加えて、顧客企業経営層の業務効率向上に対しての強い意欲、顧客企業のIT人材不足等を背景に、IaaS・PaaS他のITインフラ領域での各種クラウド型ITサービスへの需要や、まだ一部ではありますが、システム運用全般のアウトソーシングを含む業務オペレーションシステムも増加基調にあったものと考えております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきまして、売上高は、前年度から増加基調にあった製造業顧客のIT投資需要を背景に、システム開発、保守運用・サービス、システム販売の全ての区分別売上において増加し、前期比11.9%増の187,329百万円となりました。

営業利益は、増収に伴う増益に加え、全般的には業務品質向上・効率化施策による開発生産性のさらなる改善等により収益性が向上したこともあり、前期比23.7%増の19,800百万円となりました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益については、営業利益の増加等により、各々前期比24.3%増の20,337百万円及び27.3%増の13,796百万円となりました。

当期は、サービス提供型ビジネスへのシフトをより一層推し進め、新規ビジネスと既存ビジネスの両輪にて事業を展開し、足元の堅調なIT投資需要を確実に取り込むことで、収益成長を実現する所存であります。また、基本戦略を中心とする事業収益力の拡大施策はもとより、さらなる業務品質の追求や生産性の向上他の収益力強化に向けての各種取り組みに注力し、経営基盤・収益基盤のさらなる拡充に努めてまいります。

当期は、現中期経営計画の最終年度であり、次期中期経営計画を見据えた重要な年度となります。これまでに固めた経営基盤をベースに、サービス提供型ビジネスへのシフトを核とする基本戦略の推進はもとより、新しい事業展開を実行し、次期中期経営計画期間に向けての重点戦略が速やかにスタートできるような体制を築いてまいります。すなわち、

各種事業投資の推進体制を新たに構築し、しかるべき事業投資を行い、重点戦略の事業展開をスタートしつつ、従来型のITサービスビジネスにおける顧客企業のIT投資需要の波をしっかりと捉え、着実な収益拡大に取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ7,723百万円増加し、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額214百万円を加味した結果、114,136百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は22,400百万円となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益19,993百万円、減価償却費5,132百万円、売上債権の減少による資金の増加7,670百万円によるものであります。主な減少要因は、仕入債務の減少による資金の減少4,285百万円、法人税等の支払による資金の減少4,314百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は6,749百万円となりました。

主な減少要因は、有形固定資産の取得による資金の減少4,567百万円、無形固定資産の取得による資金の減少1,461百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は7,800百万円となりました。

主な減少要因は、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による資金の減少2,114百万円、2019年3月期末配当金(1株当たり50.0円)5,202百万円の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間は堅調な連結業績となりましたが、世界の政治経済情勢および金融資本市場の動向等を勘案し、2019年4月26日に公表しました通期の業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,170	21,559
受取手形及び売掛金	74,698	67,100
有価証券	—	300
商品及び製品	7,831	7,772
仕掛品	360	1,041
原材料及び貯蔵品	117	113
預け金	85,028	92,576
その他	11,831	14,456
貸倒引当金	△31	△52
流動資産合計	201,007	204,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	43,566	42,379
土地	14,169	14,169
その他（純額）	13,096	15,673
有形固定資産合計	70,833	72,222
無形固定資産		
のれん	53	234
その他	8,155	7,722
無形固定資産合計	8,208	7,956
投資その他の資産		
投資有価証券	11,773	12,197
その他	23,074	19,950
貸倒引当金	△53	△50
投資その他の資産合計	34,794	32,097
固定資産合計	113,837	112,277
資産合計	314,844	317,147

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,087	17,828
短期借入金	15,000	15,000
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	4,898	4,020
賞与引当金	5,910	5,729
役員賞与引当金	57	32
工事損失引当金	228	375
その他	24,343	25,675
流動負債合計	72,525	78,661
固定負債		
社債	40,000	30,000
役員退職慰労引当金	20	15
退職給付に係る負債	2,902	2,333
資産除去債務	2,779	3,090
その他	2,147	2,010
固定負債合計	47,850	37,450
負債合計	120,375	116,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,152	21,152
利益剰余金	175,223	182,184
自己株式	△694	△690
株主資本合計	195,681	202,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,076	2,231
繰延ヘッジ損益	△21	△26
為替換算調整勘定	△182	△338
退職給付に係る調整累計額	△4,141	△3,811
その他の包括利益累計額合計	△2,269	△1,944
新株予約権	40	31
非支配株主持分	1,015	303
純資産合計	194,468	201,036
負債純資産合計	314,844	317,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	167,424	187,329
売上原価	126,205	140,467
売上総利益	41,218	46,861
販売費及び一般管理費	25,213	27,061
営業利益	16,004	19,800
営業外収益		
受取利息	31	33
受取配当金	37	43
持分法による投資利益	359	488
その他	86	97
営業外収益合計	514	663
営業外費用		
支払利息	54	62
投資有価証券売却損	2	—
社債発行費	48	—
子会社株式取得関連費用	—	35
その他	49	28
営業外費用合計	154	126
経常利益	16,364	20,337
特別利益		
固定資産売却益	1	0
会員権売却益	0	—
新株予約権戻入益	—	5
特別利益合計	1	6
特別損失		
固定資産除却損	16	18
固定資産売却損	20	0
減損損失	—	202
会員権売却損	0	0
支払補償金	—	129
特別損失合計	36	349
税金等調整前四半期純利益	16,329	19,993
法人税、住民税及び事業税	2,554	3,441
法人税等調整額	2,595	2,719
法人税等合計	5,150	6,161
四半期純利益	11,179	13,831
非支配株主に帰属する四半期純利益	342	34
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,836	13,796

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	11,179	13,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	284	133
繰延ヘッジ損益	27	△5
為替換算調整勘定	56	△159
退職給付に係る調整額	241	329
持分法適用会社に対する持分相当額	1	28
その他の包括利益合計	611	326
四半期包括利益	11,790	14,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,446	14,120
非支配株主に係る四半期包括利益	344	37

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,329	19,993
減価償却費	4,560	5,132
のれん償却額	15	38
減損損失	—	202
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△57	16
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△505	△569
固定資産除却損	16	18
固定資産売却損益 (△は益)	18	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	2	—
持分法による投資損益 (△は益)	△359	△488
受取利息及び受取配当金	△68	△77
支払利息及び社債利息	54	62
支払補償金	—	129
投資事業組合運用損益 (△は益)	△14	△9
売上債権の増減額 (△は増加)	6,465	7,670
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△327	△611
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,587	△4,285
その他	△1,686	△422
小計	21,853	26,799
利息及び配当金の受取額	165	197
利息の支払額	△53	△62
支払補償金の支払額	—	△28
災害損失の支払額	—	△191
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,950	△4,314
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,014	22,400

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,393	△4,567
有形固定資産の売却による収入	12	1
無形固定資産の取得による支出	△1,668	△1,461
投資有価証券の取得による支出	△885	△565
短期貸付けによる支出	△36	△2
短期貸付金の回収による収入	19	2
投資事業組合出資金の払戻による収入	40	17
敷金及び保証金の差入による支出	△97	△208
敷金及び保証金の回収による収入	417	190
その他	△97	△158
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,689	△6,749
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	15,000	15,000
短期借入金の返済による支出	△10,000	△15,035
長期借入金の返済による支出	△5,000	△78
社債の発行による収入	10,000	—
リース債務の返済による支出	△329	△309
自己株式の取得による支出	△6	△4
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△4,941	△5,202
非支配株主への配当金の支払額	△109	△55
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△2,114
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,613	△7,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	21	△126
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	15,960	7,723
現金及び現金同等物の期首残高	99,797	106,198
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	70	214
現金及び現金同等物の四半期末残高	115,828	114,136

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	製造・通信 システム	流通・メディア システム	金融システム	商社・グローバル システム	ビジネス ソリューション	モビリティ システム	プラットフォーム ソリューション
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	20,119	29,349	30,387	7,214	23,698	9,252	25,621
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	439	465	308	2,468	2,110	134	3,312
計	20,559	29,815	30,695	9,683	25,809	9,387	28,934
セグメント利益 又は損失(△)	2,544	3,099	2,844	1,165	1,953	215	2,714

	IT マネジメント	その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
(1) 外部顧客への 売上高	21,344	434	167,424	—	167,424
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	7,265	1,791	18,298	△18,298	—
計	28,610	2,226	185,722	△18,298	167,424
セグメント利益 又は損失(△)	2,585	△82	17,040	△1,035	16,004

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,035百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	製造・通信 システム	流通・メディア システム	金融システム	商社・グローバル システム	ビジネス ソリューション	モビリティ システム	プラットフォーム ソリューション
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	24,647	32,497	31,400	9,029	25,735	10,748	28,922
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	406	543	681	4,365	2,511	317	3,327
計	25,054	33,041	32,081	13,394	28,247	11,066	32,249
セグメント利益 又は損失(△)	2,978	3,869	3,413	1,223	2,721	610	3,342

	IT マネジメント	その他	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高					
(1) 外部顧客への 売上高	23,863	484	187,329	—	187,329
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	7,203	2,140	21,497	△21,497	—
計	31,066	2,624	208,826	△21,497	187,329
セグメント利益 又は損失(△)	2,897	△107	20,949	△1,148	19,800

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△1,148百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用等であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、戦略的事業である車載システム事業について、車載アプリ領域(MBD)とプラットフォーム領域(QINeS)一体での、より強固な事業推進体制を構築すると共に、同事業の将来戦略の企画を含めた事業マネジメントの一層の強化を目的に、モビリティシステム事業部門を新設いたしました。

これにより、報告セグメントに「モビリティシステム」を新設し、従来の報告セグメントにおける「ビジネスソリューション」から、車載システム事業を同セグメントに移管しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。